

ASO LETTER

あそか苑からの手紙
vol.01



●あそがたり
中井美緒さん

●イベント報告
あそか苑の夏まつり

●特集
特養・看取りのハンドブック

●採用コラム
人材確保の仕事とは？

●コノコダレヤロ

懐かしいイメージでレイアウトされた「駄菓子のおそか屋」で、“選ぶ楽しみ”にご利用者さまもニコニコ♪【パドマ館・2019年7月】

イベント報告



8月に入ると各拠点で次々とお祭りが開催されます。
荒牧拠点では 8/15、宝塚拠点あやなデイでは 8/17、
あそか拠点では今年も 8月最後の日曜日 8/25 に開催され、
フラダンスにタップダンス&和太鼓、盆踊りやさまざまな屋台に、
自分で巻きとって食べる綿菓子..と、大盛況でした！
みずほ拠点が 9/15 で夏の一番最後を飾りました。



【荒牧拠点ももは】

待ちに待った夏祭り！
たこ焼き、カレーに綿飴、
射的や輪投げが並び、
笑・楽・嬉・癒・優・美味、
すべてを体験できる特別
な一日でした♪



【あやな中山寺デイ】

お祭りに向けて利用者
さまとおみこしの飾り
つけをしました。当日
は皆でお神輿担いで盆
踊りを踊りスイカ割り
にも挑戦しました！



【みずほ拠点】

少し暑かったですが、
迎えた当日は快晴！
皆で着々と準備を進
めたみずほの秋祭り、
楽しんでいただきました♪





今月の あそがたり

あそか特養(3F)
中井美緒さん



中学の時、デイサービスの職業体験でカラオケしたり折り紙したり・本当に孫のように可愛がってもらって楽しかったけれど、そのときは「介護って大変そう」というイメージが強く、自分が介護業界に踏み込むイメージはありませんでした。でも、合同就職説明会に参加した時、あそか苑の職員が明るくて、話を聞かせてもらって、介護の仕事楽しそう！

と思いました。最初の一か月は体力が無さ過ぎて全身筋肉痛になったり、しんどいと思うことも沢山ありましたが、同じ介護の道に進んだ友達ともたくさん話をする事ができましたし、何より同じフロアの職員のみなさんがすごく優しくておもしろくて、続けていくことができます。おもしろいだけじゃなく、利用者様の昔の話を覚えていてそれを引き出す力がすごかったり、他のフロアの先輩も利用者様全員を覚えていてコミュニケーションを取っていたり、職員全員が本当に利用者様に向き合っているのので、自分も納得してサービスを受けてもらえるようにコミュニケーションを取ることを意識していきたいです。今の雰囲気がとても好きなので、そのまま新しく働く人にも伝えていきたいなと思っています。

中井さんの記事は10月1日より「あそがたり」に掲載されます！



職場のアノ人の意外な一面。

そんなこと考えてたんだ、って思うと少し見る目が変わりそう？いろいろな考え方に触れて、すこしココロが動くかも。

あそがたり 





残された時間を 幸せに過ごしてもらうための みちしるべ。



特養を中心に、人生の終盤を迎えようとしている方のご家族に向けた看取りのハンドブックができました。プロジェクトメンバーの、あそか特養管理者・和田さんにお話をうかがいました！

冊子を作るようになったきっかけを教えてください

ご家族にとって「大切な方の死」は、覚悟しているつもりでも、実際に体調が変わっていく様子を見ると動揺や不安でどうしていいかわからなくなってしまうことがありますし、看取り経験の少ない現場職員にも心配や不安になることがあると思うんです。そんなとき、先もって具体的に看取りをイメージできる冊子があったら心強いよねという現場の意見があり、施設部門の管理者で相談した際に資料として持ち寄ったハンドブックがとても素晴らしかったので、それを

お手本に、施設ケアマネや管理栄養士、療法士などの意見をふまえ、少しだけアレンジを加えて発行することになりました。

かなり具体的な内容のハンドブックになっていますね

看取りが進んでいく段階で、ご家族がどうしても客観的になれなかったりすると、私たちが認識しているご利用者の状態と、ご家族の認識にズレが生じてしまうことがあります。そんなとき、こういう症状が出ていますね、こういう時期に来ているのかもしれませんがね、と具体的に話をすることで冷静になれるんじゃないかなと思います。

ご家族と関わっていくうえで大切にされていることは？

ご家族の想いを知ることができてはじめて「自分たちに何ができるんやろう？」を考えていくことができると思うので、まずはご家族に「話してみようかな」と思ってもらえるような雰囲気づくり、相手の立場になって傾聴する姿勢を大切にしています。

看取りについて目指しているところ、心がけていることは？

いざ看取りとなってから優しくしたり、ということじゃないと思うんです。そうなる前から密に接している日常があった上で、体調が変わってきたときに『今』何ができるのかをみんなで考えて、ご本人にとって最期まで心地良く安心な空間、ご家族にとってできるだけ心残りや後悔がないようなケアを目指しています。もし自分だったらどうしてほしいのか、どんな言葉をかけてほしいのか、それぞれが想像しながら職員みんなに関われることが一番大切だと思います。例えば、どんどん食べられなくなり、動けなくなっていくような状態になっても、体もココロも

気持ちよく、羊水に包まれてるみたいに穏やかな気持ちで大好きなお風呂に入っていたきたいな…と、自分がしてもらって嬉しいことを考えながら動くとか。あとは、ご本人やご家族に安養に過ごしていただくために、穏やかに安らいたい気持ちで接したいです。私たち職員が不安な気持ちでいたら、伝わってしまいますもんね。ご本人に安養に過ごしていただくためにも、ゆったりと接することを心がけています。

これからどういったことに取り組んでいきたいですか？

人の最期に立ち会うことは、慣れられるものじゃないし、気持ちの整理がつけられるまでの期間も人それぞれです。かかわった職員が本当にこの対応でよかったのかと悩んでしまったとき、ご家族に対してそうするのと同じように、職員にも「話してみようかな」と思ってもらえるような雰囲気づくり、悩みを話せる環境づくりをしたいと思います。そうすることがまたご家族に信頼していただけるような施設の雰囲気に繋がっていくんじゃないかなと思います。

管理者の方たちに「はじめての看取り」はどんな気持ちだったのかお聞きしました。



【和田有美子さん／あそか特養】
ショックや怖さを感じるというより、生あるものは死んでいく、その最後のステージに関わらせていただいて「よく頑張りはったなあ」と感じた反面、福祉人として自分が関わって、ご本人は幸せだったのかな？自分は何ができたんだろう？何もできなかったんじゃないか？これでいいのか看取り？！というかんじでした。もっとできることがあったんじゃないかという気持ちでした。

【小林裕美さん／プンダ特養・ウパラ特養】
初めて看取った時は特に驚くことはなく、これが自然な看取りなのかなと。反面これで良かったのかなと。この方はあそか苑で良い最期を迎えることが出来たのか？家族様も満足しているのか？など考えました。今は入居した時点から看取ることを見据え、入居者と家族様との関わりを持つようになっています。

【田村典子さん／みずほ特養】
入社して10年以上になりますが、いまだに看取り対応は緊張します。新人の頃、だんだん食べられなくなって眠っているばかりの状態を目の当たりにして、どうして良いかわからず不安になったり、頭では分かっているけど自分自身の気持ちが付いて行かず落ち込んだ時は、よく先輩職員に相談に行きました。現在も家族様のご意向は様々ですが、終末期は寄り添う時間を大切にしています。「理念」で対応すれば後悔はないと思います。

【井上哲さん／ももは特養】
私の初めての看取りは、あそか苑に来て1年ほど経った頃です。それまで看取りをしたことが無かったので、弱っていかれるのをただ見ていることしかできなかったと記憶しています。その後、多くの看取りをする中で様々なことを学ばせて頂きましたが、「その人らしい最期」を迎える支援ができたかは、今でも毎回自問自答しています。



このハンドブックを読みたいときは…



あそか拠点までお問合せください！
ご利用者が自然な体調の変化を経てその日を安養に迎えられるために、施設部門も在宅部門も、かかわる人みんなでお手伝いができるキッカケになると嬉しいです！

コノコダレヤロ

Who is this child ?

エピソード

写真は尼崎市立立花幼稚園在園時のもの。
とにかく甘いものが好きでお茶にも砂糖を入れてました。また、頭のサイズが大きくて合う帽子を探すのに苦労したと聞いてます。

この頃の記憶はあまりないのですが、親、兄弟によると年の離れた末っ子で要領が良かったと成長してからよく聞かされました。三歳位のころ、父親のパチンコに連れていかれ、おとなしくさせておくために、チョコレートかキャンディーのどちらかを買ってあげると言われてチョコレートを選び、しばらくおとなしく食べていたそうですが、食べ終わると「僕、ほんとうはキャンディーが食べたかったなあ」と。父親もおとなしくさせておくために止む無く買い与えたそうで、帰宅後、「上の姉、兄はこんなことなかったのに」とぼやいたそうです。

仕事も要領よくできればいいのですが……



♥ ヒント

学生時代は弓道をしていました。今は甘いものよりお酒が大好きです！

※ 答えは見開きページの右下

採用コラム 人材確保の仕事とは？



こんにちは！人材確保では、あそか苑で働く人たちの魅力を伝えていくことを一番大切にしながら、学生さんに会いに行ったりハローワークとやりとりしたりと、ここで働きたいと思ってもらえるような取り組みをしています。人見知りな僕ですが皆さんが普段大切にしていることや大変だと思うこと、なんでも聞かせてくれたらすごく嬉しいです。それを伝えていくことが人材確保に繋がります！それと僕は鍼灸師ですので、しんどいときは是非一度声をかけてくださいね！

2分で読めるナルホドな採用のあれやこれ、執筆中！

人事ブログ 明照会



サービス付き高齢者向け住宅
彩那グランデ荒牧、入居者募集中!!

ご入居相談(直通) **080-4162-1660**

